

学校だより 垂水中央中 PRIDE

校訓「創造」「感動」「鍛錬」

平成29年度第4号
(7月19日発行)



9月10日(日)は、第8回体育大会です(7月11日全校朝会から)

校長 明石 浩久

私は、小・中学生の頃、体が太っていて、徒競走ではいつも最下位でした。速く走ろうという思いとは裏腹に、体は前に進んでくれません。必死に走って、もうすぐゴールというところに来ると、放送係の「最後までがんばってください。」の声。そっとゴールさせてほしいと思っていました。運動会が近付くと憂鬱な気持ちになり、台風が来ることを願っていました。でも、そんなに都合よく来るはずはありません。走ることに運動することが得意な人にはわからない感覚かもしれませんが、運動会当日の朝早くに打ち上げられる花火の音で、体中に緊張感が走ったものです。そんな子どもの頃、馬の糞を踏むと、足が速くなると言われていました。当時は、畑を耕したり、荷物を運んだりするのに馬が使われていましたので、荷車を引いた馬が農道を歩いていたものです。道の所々に糞も落ちています。学校の帰りに誰も見ていないのを確認して、靴で糞をぺたぺたしてみました。足が速くなることはありませんでした。中学校3年生のとき、走る練習をしてみようと思って、お盆明けぐらいから体育大会まで、朝早く起きて、近くの協和小学校の校庭を5周ずつ走ることにしました。新聞配達をしていた同級生が私を見かけて、「頑張っちゃよね。」と声をかけてくれました。そして、体育大会の徒競走。緊張で頭の中が真っ白になる中、ピストルが鳴りました。スタートしてすぐに後ろから2番を走っていました。初めての後ろから2番。私は後ろから迫ってくる相手からなりふり構わず逃げ続けました。すると、最後のコーナーで前を走っている人の背中が近付いてきました。ラストの直線で前の人を追い抜き、後ろの2人から必死で逃げました。結果は、人生初の後ろから3番。新聞配達の友達が「がんばったね。」と声をかけてくれたのを今でも覚えています。振り返ってみると、そうした憂鬱なこと、嫌なことから逃げ出さないでよかった。もっとも、逃げだそうという発想もなかったけれど。足が遅いなりに頑張ったよかった。そうした経験の積み重ねが、大人になって、苦しいとき、行き詰まりそうになったときにも、頑張れる源になっている気がしています。子どもの頃の徒競走は残念なことが多かったけれど、自分なりに一生懸命走って、終わった後のほっとした気持ち、みずみずしい梨のおいしさと青いミカンの甘酸っぱさ、やっぱり運動会は大事な思い出です。体育大会に向けて、1人1人の奮起を期待します。

言葉の力 伝える力

7月8日(土)に、各学級代表2人、計6人による学年弁論大会が行われました。「大切にしたい言葉」「憧れている人」「私の夢」「大切な存在」「本当の強さ」「感謝」など、これまでの経験を基に、自分の意見や考えを堂々と表現してくれました。弁論者1人1人の成長が感じられ、うれしく思いました。



ご出席ありがとうございます

7月7日(金)に、1学期の授業参観・PTAを行いました。暑い中、ご出席いただき、感謝を申し上げます。今回、地域PTAを同日開催にしたことなど、ご意見をお聞かせいただければと思います。また、授業はいつでも参観できますので、お気軽に学校へお越しください。



オーケストラの演奏に魅了

7月6日(木)に垂水市の「わくわくどきどき! 夢教室オーケストラへの招待」が開催され、市内の小・中学校1年生から中学校3年生までが参加しました。鹿児島交響楽団による「銀河鉄道999」や「オペラ座の怪人」等、生徒にも聞き覚えのある曲が演奏され、オーケストラの魅力を知る機会となりました。



《8・9月の主な行事予定》

8月の行事予定	
1 火	出校日
20 日	PTA奉仕作業 PTA資源回収 【予備日: 8月27日】
21 月	出校日
9月の行事予定	
1 金	始業式 1~3年生実力テスト
4 月	1~3年生実力テスト
7 木	体育大会予行練習
9 土	土曜授業日(体育大会練習・準備)
10 日	第8回体育大会(8:45~)
11 月	振替休日
20 水	3年生ふるさと垂水(史跡巡り)
21 木	1年生ふるさと垂水(漁業体験学習)
24 日	小学校大運動会(新城、柘原、水之上、協和、松ヶ崎、境)
26 火	2年生ふるさと垂水(産業見学)
27 水	小学校8校合同学習会(~28日)

入賞おめでとう

☆ 肝属地区中学校総体水泳競技の部

- 男子 50mバタフライ 1位 岩切 斗吾
- 男子 100mバタフライ 2位 岩切 斗吾
- 男子 50m背泳ぎ 1位 大石 拓真
- 男子 50m自由形 3位 大石 拓真
- 女子 50m背泳ぎ 2位 吉崎 梨菜

事故ゼロ 命を大切にする夏を過ごさせてください

+ONEの出来事

早朝、校庭から大きな声が響いてきました。「最高の思い出をつくりたいと思います。」「みんなを盛り上げていきます。」見ると、3年生の女子6人。体育大会の応援団員になりたいと手を挙げてくれましたが、枠は4人。話し合いの結果、声出しで選ぶことになったとのこと。担任も大いに悩んだようです。選ばれた4人も、惜しくも選ばれなかった2人も、みんなのために頑張りたいという気持ちが伝わってきます。それがうれしい。拍手。